

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 73.4%, 県 69.7%)

対県比

105.3%

学力定着実態調査 本年度正答率

本校 69.8%
全国 64.8%

対全国比

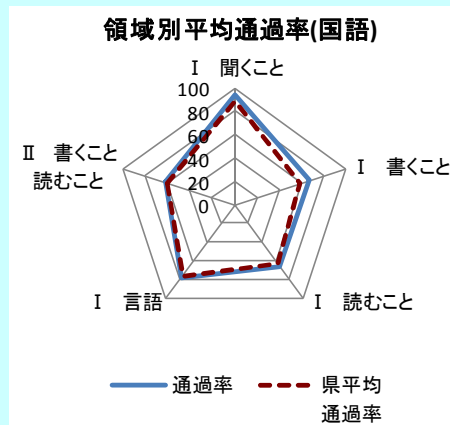
107.7%

本年度の結果について

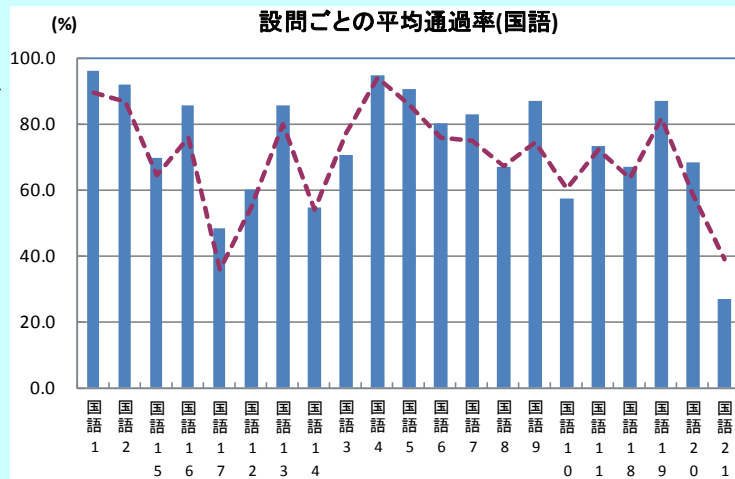
○「基礎・基本」の結果において、タイプⅠは76.1%、タイプⅡは62.0%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容についてはおおむね定着しているが、それを実生活や学習のさまざまな場面に活用する力に課題がある。

○「全国学力」では、A問題(知識)が77.6%、B問題(活用)が70.4%の正答率となっている。どちらも全国平均を超えているが、課題も明らかになったので、今後取組んでいきたい。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 77.6 %
全国 75.6 %
県 76.6 %

B問題

本校 70.4%
全国 66.5%
県 67.9 %

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

110%

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(通過率) (48.0%)

四3「叙述の仕方」の設問で、2つの内容が含まれている文を、接続語と主語を補って2つの文に書き直す力が十分でない。

【課題2】(通過率) (26.6%)

四2「根拠に基づいて考えを記述する」設問で、共通点を正しくとらえて、それを根拠に自分の考えを書くことに課題がある。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(正答率) (63.8%)

九七1「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」設問で、条件に即して解答できていない。

【課題2】(正答率) (61.9%)

二2「雑誌の記事を読み取り、情報カードにまとめる」設問で、文章を読み取って、要約する力が十分でない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値(55%) 実施後数値()%

夏休みの生徒作品を教材に、わかりにくい文、あいまいな文について考えさせる指導を行う。だらだらと長い文を、短い文に分けて書き直させる指導を行う。

【課題2】目標値(40%) 実施後数値()%

複数の資料を分析し、共通点と相違点を簡条書きに書かせる指導を行う。根拠となりそうな部分に線を引かせ、挙げた根拠が本当に説得力のあるものかを、お互いに検証できるよう指導の工夫を行う。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値(85%) 実施後数値()%

古典の学習の初めに、仮名遣いの復習を行う。音読活動を重視するが、表記にも意識が向くよう指導の工夫を行う。仮名遣いの小テストを繰り返し実施する。問題を解く前に、条件に線を引かせる指導を徹底する。

【課題2】目標値(70%) 実施後数値()%

要約の仕方を再度指導する。要約に必要な重要な語句や表現に気がつけるよう指導の工夫を行う。主語と述語を意識して、短い表現で書き表すよう指導する。

※今後の改善計画については別紙